

北海道浮魚ニュース

平成 28(2016)年度 16 号

2016 年 8 月 25 日

道総研 釧路水産試験場

ホームページ : <http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

◎道東太平洋スルメイカ資源調査結果

・4 調査地点の分布密度は 0.1~0.6 でした(図1)。

- ・調査期間 : 2016 年 8 月 19~25 日
- ・調査海域 : 道東太平洋沿岸
- ・調査船 : 北辰丸 (釧路水産試験場)
- ・調査方法 : イカ釣機 5 台を用いた約 3 時間半の夜間操業

1. スルメイカの分布密度

スルメイカは道東太平洋の調査を行った 4 調査点で漁獲されました(図 1:左)。4 調査点のスルメイカの分布密度(イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数)は 0.1~0.6、平均分布密度は 0.29 で、前年(図 1:右)の 0.2~13.2、平均分布密度 5.04 を下回りました。同じ調査地点(St.3,4,7,8)の分布密度で比較すると各地点とも前年を下回りました。4 調査地点の平均分布密度を 2000 年以降の全調査地点の平均分布密度と比較すると最も低い値でした(図 2)。

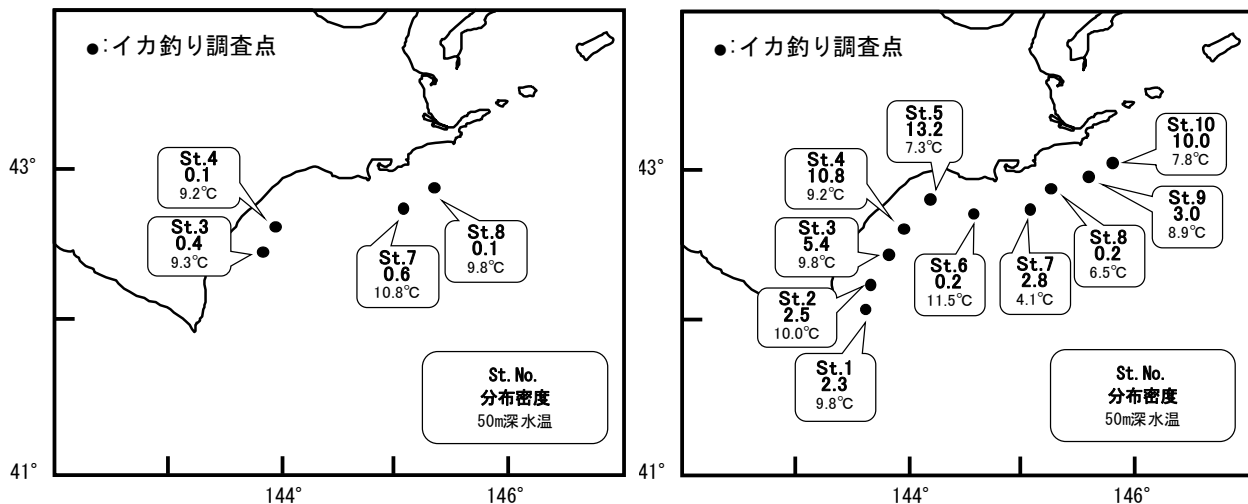


図1 8月の道東太平洋におけるスルメイカの分布密度と 50m 深水温
(左 : 2016 年、右 : 2015 年)

※分布密度は CPUE (イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) で示した。
※モードとは最も多く漁獲されたイカの大きさ。

2. 水温

道東太平洋 4 調査点の表面水温は 17.9~19.1°C (前年と同じ調査点:14.8~19.4°C)、
50m 深水温は 9.2~10.8°C (前年と同じ調査点:4.1~9.8°C) でした。

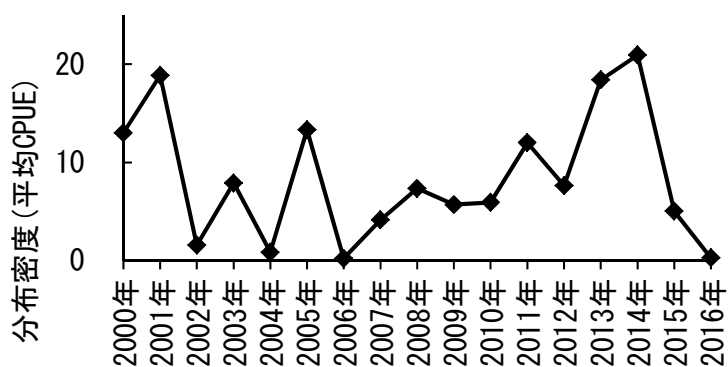


図2 8月の道東太平洋におけるスルメイカの平均分布密度

2. スルメイカの大きさ

4 調査点での外套長(胴長)の組成を見ると、20cm と 22cm の大きさが多く、前年では21cm が多く見られました(図3, 表1)。

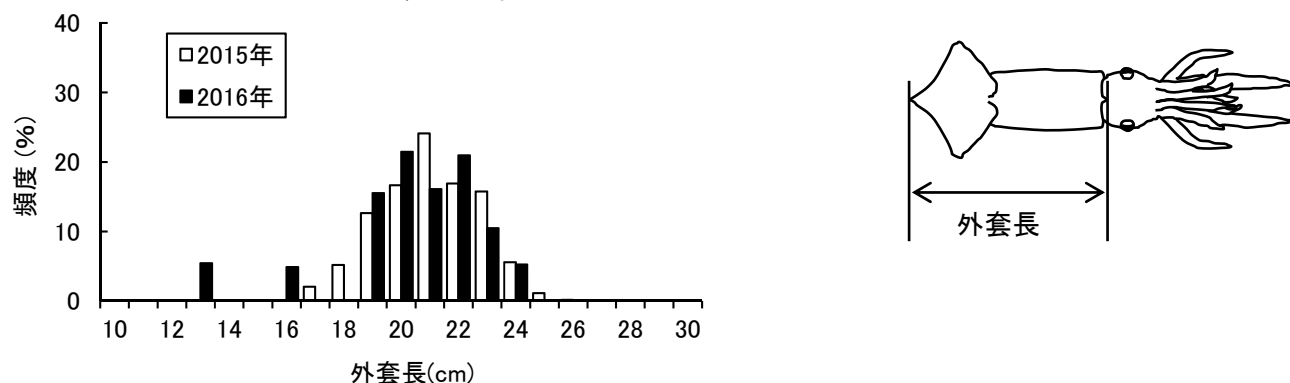


図3 8月に道東太平洋で漁獲されたスルメイカの外套長組成

表1 2007~2016年のスルメイカ調査結果

調査日程	漁獲尾数	平均CPUE	外套長		調査点数
			範囲(cm)	モード(cm)	
2007年 8/21~28	607	4.16	16-25	20	8
2008年 8/25~29	1,197	7.35	13-23	19	8
2009年 8/18~23	418	5.70	15-24	20	10
2010年 8/17~26	1,212	5.93	16-23	19	10
2011年 8/16~25	2,190	12.00	14-26	21	10
2012年 8/20~28	996	7.64	16-25	20	10
2013年 8/20~28	2,672	18.39	18-28	21	10
2014年 8/21~26	2,607	20.92	17-26	21	10
2015年 8/20~26	804	5.04	17-26	21	10
2016年 8/19~25	19	0.29	13-24	20	4

(釧路水産試験場調査研究部, TEL:0154-23-6222, FAX:0154-23-6225)